



米国Stolle Machinery Company社
の買収について

2011年9月30日



案件概要

取引概要	世界大手の製缶・製蓋機械メーカーであるStolle Machinery Company, LLC(以下「Stolle社」といいます。)の買収(以下「本件買収」といいます。)
買収ストラクチャー概要	当社が本件買収のために米国に設立する買収目的会社であるTSK Merger Corporationと、Stolle社の親会社であるCan Machinery Holdings, Inc.間の現金を対価とした逆さ合併(以下「本件合併」といいます。)を通じて当社がStolle社を子会社化
最終契約締結日	2011年9月30日(日本時間)
買収金額の総額	総額約775百万米ドル(約597億円) ⁽¹⁾
買収資金の調達方法	手許現預金及び銀行借入
買収クロージング条件	本件買収のクロージングは各国における競争法上の認可が得られること等を前提条件としており、本件合併およびそれに伴う譲渡代金の支払いは同条件が充足された後に行われる予定
買収クロージング予定	2011年12月末ころ迄

(1) 為替レート1米ドル = 77円換算



Stolle社概要

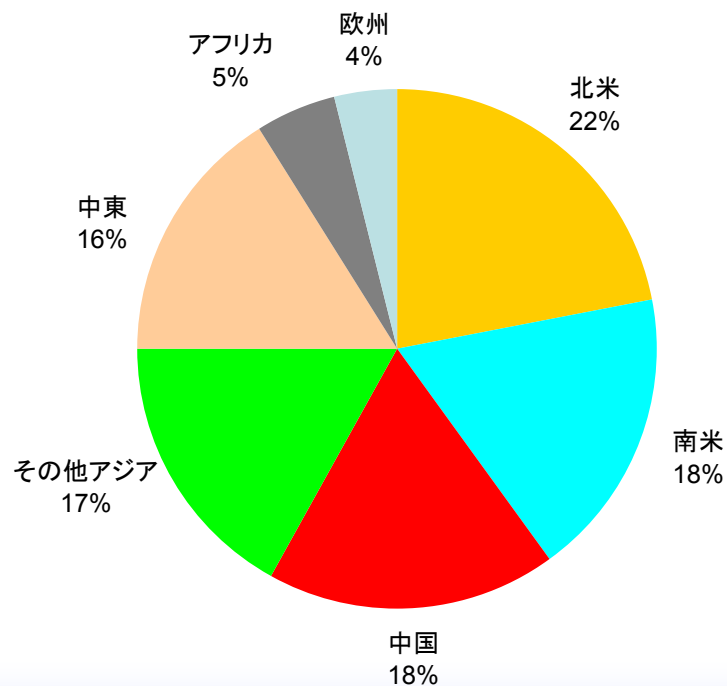
会社名	Stolle Machinery Company, LLC
本社所在地	米国コロラド州センテニアル
主な事業内容	製缶・製蓋機械に関わる開発・製造・販売・各種サービス 製缶・製蓋の各主要機械の業界におけるリーディングカンパニーであり、数多くのグローバル製缶企業を顧客として世界各国で事業を展開
売上高	246百万米ドル(2010年度)
設立年	1870年(Stolle社としては2004年)
主要株主	GSO Capital Partners LP が運営するファンド等
従業員数	421名(2010年12月31日現在)

Stolle社は主要市場である北米、欧州に加え、将来の更なる成長が見込まれる中東、南米、アジア、アフリカ等の新興市場において事業を展開

数多くのグローバル製缶企業等の顧客

製缶・製蓋の各主要機械の業界におけるリーディングカンパニー

Stolle社地域別売上高内訳 (2010年度)



- 生産拠点を米国(5拠点)、ブラジルに保有
- 英国、中東、アジアに営業拠点/サービスセンター等を保有

Stolle社主要製品群 (製缶機械)



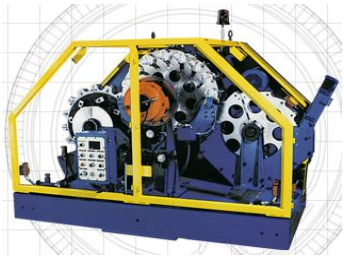
ボディ・メーカー



デコレーター／ベース・コーター



インサイド・スプレー・
マシーン



ライトテスター



エンボッサー



マイクロフレックス・システム



スプレーマシン



カッピング・システム



DRD缶用機械

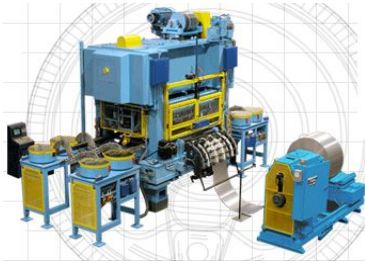


食品用機械



アライメントゲージ

Stolle社主要製品群 (製蓋機械)



シェルシステム



エンドライナー



スコア・リペア・システム



検査機械



コンバージョンシステム

東洋製罐グループ第二次中期経営計画基本方針（2010年度～2012年度）

成長に向けた軸足を「海外事業」及び「新規事業」へシフト

既存事業の
収益力強化

収益力強化
構造変革による持続的な
収益力強化の推進

成長基盤の
確立

海外事業展開

既存海外子会社の収益の安定
化と新たなビジネスの構築

新規事業展開

当社グループの新開発体制の
もと、保有するコア技術を活用
した新たな需要の創出

企業価値の
最大化

本件買収



機械設備事業

機械、モールドの
製造、設置

包装容器事業

メタル容器
プラスチック容器

クロージャー



CAN 東洋製罐株式会社



NCC 日本クラウンコルク株式会社



KKK 東罐興業株式会社



T 東洋ガラス株式会社

紙容器

ガラス容器

鋼板関連事業

ラミネート鋼板
缶材、コイルの輸出入

物流事業

倉庫保管、輸送、
ロジスティクスシステム



その他事業

リサイクル、フィルム
ガラスフリット
保険、不動産業





本件買収の戦略的意義

(1) 「海外事業」の将来の成長に向けた布石

(2) 包装容器事業と機械設備事業の垂直展開による強固なビジネスモデルの構築

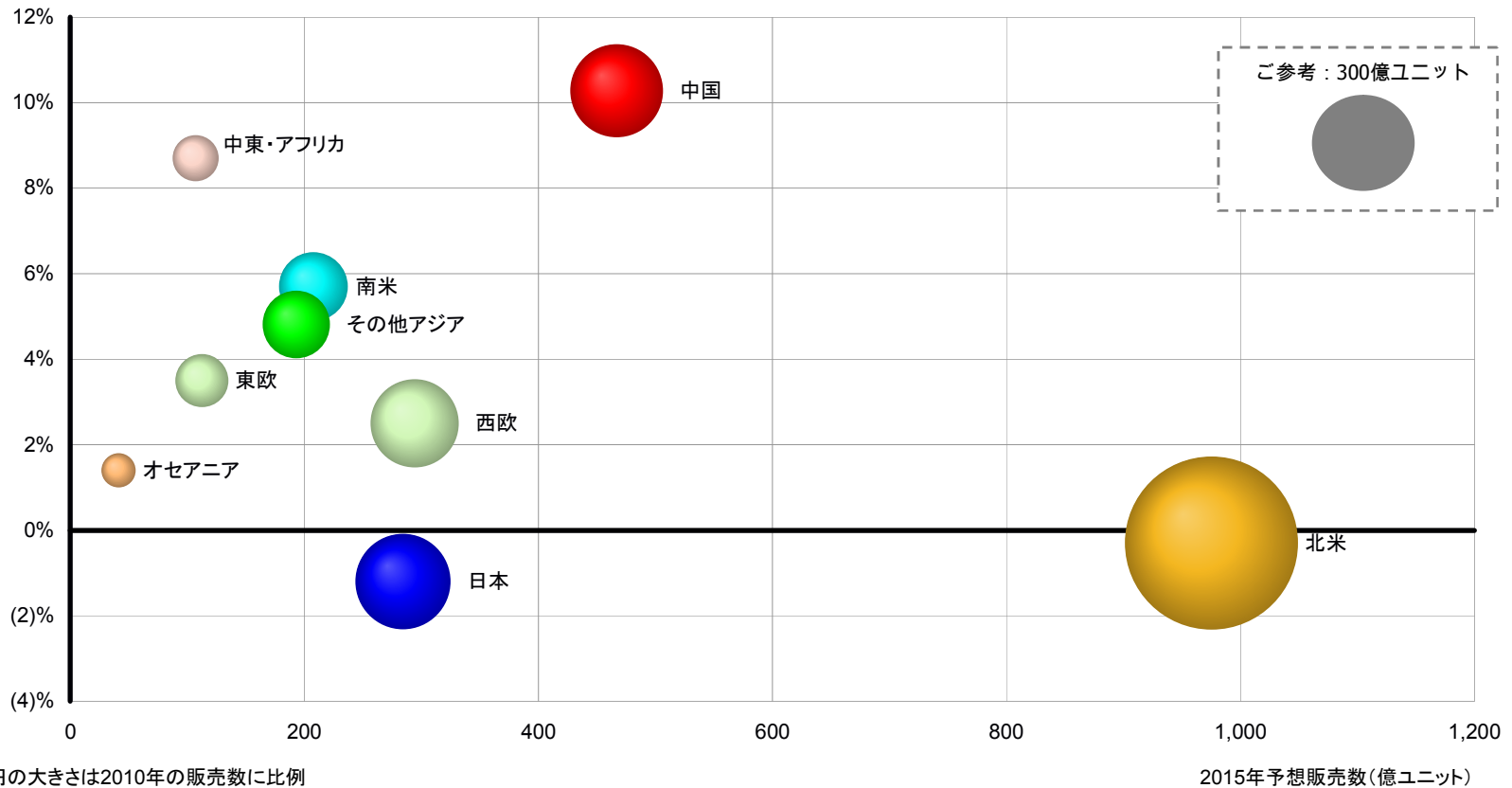
(3) 当社グループの既存機械設備事業とのシナジーの創出

世界の缶需要成長見通し

製缶業は、特に新興国において今後大きな伸びが期待できる成長市場

各市場における2015年までの飲料缶需要予想

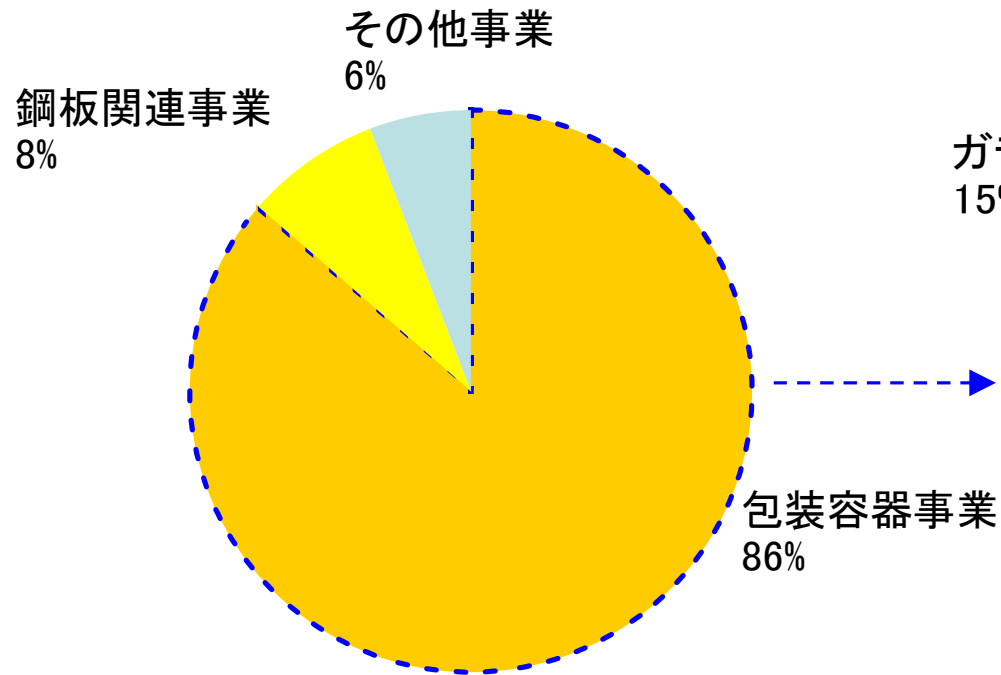
予想市場平均成長率 2010-2015(販売ベース %)



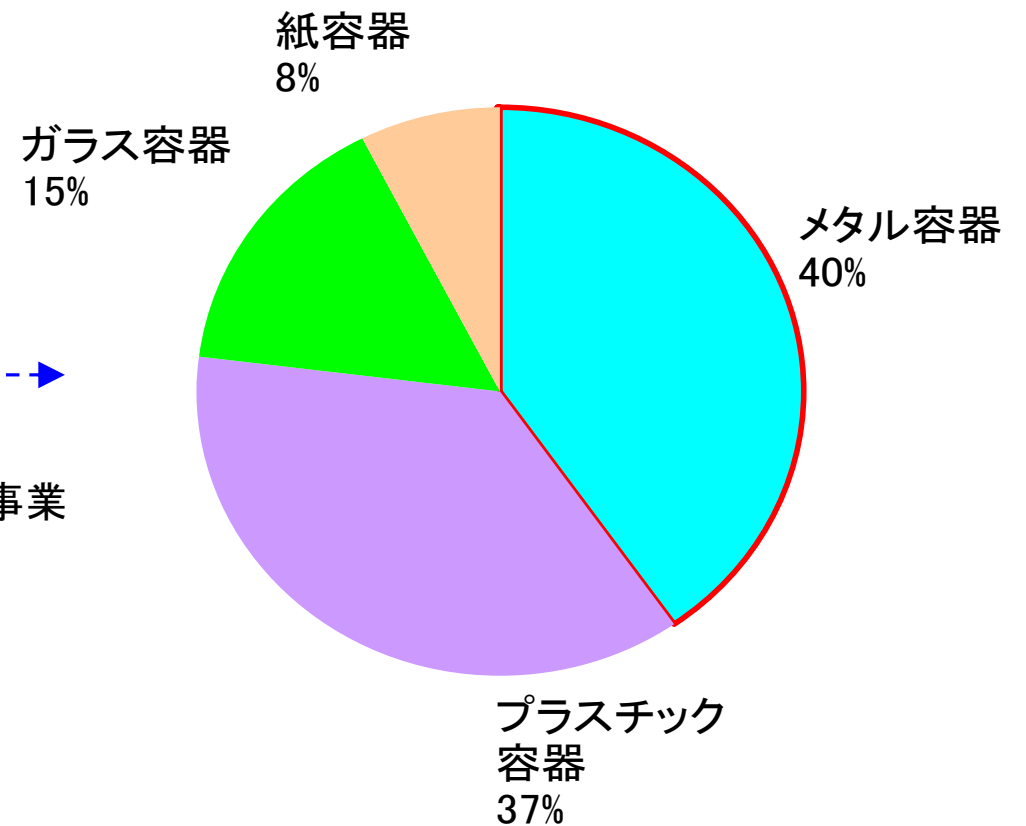
出所 各種データに基づく東洋製罐予想

東洋製罐グループの事業構成

事業別 売上高構成 (2010年度)



包装容器事業 売上高構成 (2010年度)



本件買収の戦略的意義(続き)

当社グループのバリュー・チェーン(1)



□ 本件を通して直接的に強化される分野

□ Stolle社の事業基盤活用を通して、「海外事業」の将来的成長が見込まれる分野

(1) チェックマークは、当社グループが事業を展開する領域を示す



Stolle社買収後の経営方針

当社はStolle社の既存事業、製品、技術の持続的な発展をサポートする方針

当社によるStolle社の買収後も、同社の事業および経営の自主性を維持し、同社の主要顧客との取引関係においては従来どおりの独立性を尊重する予定

本資料には、過去の事実に関する記述ではない、将来の見通しに関する記述が含まれており、ここで記述されている内容と実際の結果が大きく異なるリスクと不確実性があります。過去の事実に関する記述以外はすべて将来の見通しに関する記述になり得ます。本資料に含まれる将来の見通しに関する記述には、本件買収により生じる利益の予測、本件買収に関する申請と承認の時期に関する予測、本件買収の完了の時期に関する予定、これらの記述に対する仮定に関する表現が含まれています。将来の見通しに関する全ての記述は、実体的なリスクや不確実性に左右される将来の事象、承認及び取引に関する現在の期待や考えに基づいています。将来の見通しに関する記述とは異なる結果が生じる要因としては、本件買収の時期に関する不確実性を含む、本件買収に関するリスクと不確実性、本件買収実行のための諸条件(各国における競争法上の認可の取得を含みます。)が満たされない可能性、当社を取り巻く経済環境の変化、適用法規制の変更、為替レートの変化等が含まれますが、これらに限られるものではありません。本資料の将来見通しに関する記述は、本資料の日付時点のものであり、当社は、今後発生する事象や状況を反映してこれらの記述を修正又は更新する義務を負うものではありません。